



創立一二五周年における記念事業いよいよ始まる

## 同窓の力を集結しよう！



同窓会会长 霜 禮次郎

昨年の総会において、記念事業が同窓各位のもとに発送されました。多くの同窓各位の御理解を頂きまして、より一層の御協力ををお願い申し上げます。

募金の現状報告(十二月十二日現在)

趣意書発送総数	二九、八〇〇
返信数	四、〇九一
不明戻	一、六七一
寄付者数	一、〇一四
募金額	一四、六七〇、〇〇〇
祝賀会出席者	六一九
名簿希望	一、二四〇

(第32号)

発行所 〒260-0853  
千葉市中央区葛城1-5-2  
県立千葉高等学校同窓会  
印刷所 千葉市中央区末広2-1-16  
電話 (268) 2355 (代)  
株式会社 千葉躍進社

### 記念事業の持つ意識

千葉中・千葉高は創立一二五年の歳月の流れの中で、三万余名の卒業生を育み、明治維新(第一の開国)、終戦(第二の開国)と激動の時期に日本を背負う幾多の優秀な先輩達を世に送り出し、「追い着き、追い越せ」のもとに、日本人の持つエネルギーを結集して今日の日本を形成してまいりました。

私達同窓は、一二五年に渡る先輩達の造った幾多の有形無形の財産を後輩に伝える役目を負

て、二十一世紀を背負う後輩達に先輩の「逞しさ」をプレゼントしようではありませんか。

この同窓の行動は、必ずや後輩達に伝承され、後輩達の意識改革に現れて、良い結果が生まれると信じてやみません。

尚一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

## 学校は今・・・



校長 佐藤英幸

着任以来一年間にわたり、この同窓会報に『二十一世紀初頭の雰囲』と題し、やや硬質の内容で思うところなどを申し述べてまいりました。

今回はあまり堅い話よりは、

本校の主な行事についてごく簡単に紹介させていただき、先方にも高校時代を懐かしんでいただこうと思います。

一九九里強歩大会 単に紹介させていただき、先方にも高校時代を懐かしんでいただこうと思います。

四月二十六日、曇り状態でかなり冷たい風が吹いていた。

三年生から順次望洋荘の裏手の海岸を出発した。元気のいい生徒が海に入つたりはしゃいでいたが、やや乗り過ぎで、風邪などひかねばよいが、と案じられ



たが、やや乗り過ぎで、風邪などひかねばよいが、と案じられた。しかし、全員が予定時間内に約二十キロ先のゴール（片貝海岸・大野屋）に到着した。

## 二 文化祭

本年度も『千秋祭』と銘うつて、早期に実行委員会が組織され、企画運営がなされた。美術や書道・天文などの展示、縁日や占いなどのアトラクション、喫茶や食堂などの食品取扱等々多様な催物が多く、結果的には六十弱の団体の参加となつた。外部からの来校者も三千人近く

## 三 修学旅行

本年度は十一月十日から三泊四日で、京都・奈良を中心に行なわれた。伊原貞明教頭を団長に、参加生徒は二年生全員の四〇九名で、若干体調を崩した生



にのほり大変な賑わいを見せた。

徒もいたが、ほぼ予定どおりといふことであつた。

最近は大坂のU.S.Jや道頓堀界隈などを班別コースにする例も多くなつたと聞く。私にすれば、桜花爛漫たる王都、錦織の古都の紅葉狩り、そして冬の古い京都、こうした情景こそ我が国之心の原風景ではないかと思つてゐる。

なお、本年度は定時制においても、五年ぶりに二泊三日による北海道方面への修学旅行が実施された。

## 四 合唱コンクール

修学旅行の十一月十三日、伝統ある講堂で例年どおり一年生

のクラス別対抗で開催された。伊原貞明教頭を団長として、一致団結、大いに練習に励んだということである。ほとんどの生徒の自主的な活動となるが、例年のことながら極めて優れた合唱を聞き、さすがは千葉高生、と感心させられる。

その他、体育祭、球技大会、野球応援など様々な行事が展開された。マラソン大会は、一般入試以外に新たに導入された学校独自問題による高校入試との関係で、日程がとれず残念ながら中止となつた。また、保護者

授業参観、大学教授による出張講義、中央博物館との連携による課題学習、地域懇談会など新しい

学校との地域懇談会など新しい動きが様々導入されてきていた。私は、多くの方々のお陰で國らずも教職最後の三年間を母校で過ごすことができ、また霜同窓会長さん初め先輩の皆様から御指導・御支援を賜ることができたのは誠に幸甚であり、関係の全ての方々に心から感謝申し上げる次第であります。



最後に創立一二五周年記念事業の成功と、同窓会の一層の発展をお祈りいたします。

ら中止となつた。また、保護者授業参観、大学教授による出張講義、中央博物館との連携による課題学習、地域懇談会など新しい学校との地域懇談会など新しい動きが様々導入されてきていた。私は、多くの方々のお陰で國らずも教職最後の三年間を母校で過ごすことができ、また霜同窓会長さん初め先輩の皆様から御指導・御支援を賜ることができたのは誠に幸甚であり、関係の全ての方々に心から感謝申し上げる次第であります。

最後に創立一二五周年記念事業の成功と、同窓会の一層の発展をお祈りいたします。


**学年短信**
**●昭和八年卒****安田 衛**

平成十四年の昭八会は九月二十七日恒例の梅松屋で大木幹事の司会で開催、吉野平八郎君が本年も東京よりはせつけてくれ参加者は遠藤、大木、加地、金子、安田、吉野の六名となつた。金子君が千葉県庁および千葉市役所に在勤時沿岸の埋立工事で交渉等活躍された話があり、また遠藤君より日露戦争の際父上が旅順攻略に將校として当たり智略をめぐらした様子が語られた。安田幹事より本年二月に千葉高創立一二五周年の祝賀会が行われる旨報告があり又本年は卒業七〇周年に当たるので一同元気に出席したいと申し合せた。和気あいあいの懇談が続いたあと校歌凱旋歌を齊唱して午後三時閉会した。

**●昭和九年卒（九和会）佐久間彊**

昭和九年卒は、九和会という名称で、卒業時に発足、戦後は原則として、毎年総会を開いている。しかし、高齢化が進み、物故者もふえて、淋しくなっている。

**●昭和十四年**

本年（平成十四年）は、十一月七日に開催したが、出席者十一名（うち夫人が三名）であつた。もつとも、その前年に文集を作つた時には、二十三名が寄稿、他に未亡人が五人参加された。会員全員の御健康を祈つてやまない。

私自身は、幸い元気で、内務省に奉職したが、消防庁長官退職後は、亡父の創立した千葉経済学園（大学・短大・高校）の経営に専念している。

**●昭和十一年三月卒業****佐瀬喜一**

平成十三年十月二十八日。この日昭和二十一年以来、隔年続けてきた第三十四回目の“土葉会”（昭和十一年卒業者の集い）を開催した。杖をつき、或いは

添きそいと共に参加した旧友は九名。顧みると土葉会は、昭和十一年三月、千葉中（現千葉高）を卒業した、一七四名の会で、

会長は長谷川泉君（森鷗外記念会理事長）逝去した者、約一〇名。毎回出席して戴いた早崎準一郎先生は九十九才で他界されました。生存者の名簿、母校の写真、校歌等を出席者に配布した。今年は電話や文通で消息を確かめ合うことになつた。私も幹事として「学年短信」を毎年書いてきたが、同期の友人を数多く失つたことは淋しい限りである。

**●昭和十二年卒****古川 芳**

十二会（千葉中昭和十二年卒業同窓会）は毎年四月に開催して居りますが、平成十三年は例年会場の京成ホテルが工事中の為、パルコの八階で実施したところ、県外の会員が会場が変わった為まごついた様子だったので平成十四年は京成ホテルで実施しようと考えていたが、ホテルのオープニングが九月になり、丁度私の店の改築工事と重なり実

添きそいと共に参加した旧友は九名。顧みると土葉会は、昭和十一年三月、千葉中（現千葉高）を卒業した、一七四名の会で、会長は長谷川泉君（森鷗外記念会理事長）逝去した者、約一〇名。毎回出席して戴いた早崎準一郎先生は九十九才で他界されました。生存者の名簿、母校の写真、校歌等を出席者に配布した。今年は電話や文通で消息を確かめ合うことになつた。私も幹事として「学年短信」を毎年書いてきたが、同期の友人を数多く失つたことは淋しい限りである。

**●昭和十三年卒****鈴木尚純**

昭和十三年卒のいざや会總会は平成十四年十月三日（木）、船橋市の稻荷屋にて正午より開催した。出席者は昨年の十九名に対し十一名と激減したが所用のため欠席した者が六、七名いるので来年は十五名以上の出席を期待している。他の欠席者は加齢するにつれ、色々と健康上の理由による。

少しでも健康の回復を期待したい。我々の年輩になると、身体機能の低下は勿論であるが、特に頭の機能低下を少しでも遅らせることが肝要である。總会では出席できない者の情報、お

互いの生活状況、日本の政治情勢など話し合い、出来る丈長く

本会の継続を約して散会した。

尚淋しい限りですが今年に白井泉、斎藤一郎、尾形一男の三君が逝去されました。心から御冥福を祈ります。

#### 追伸

私が二十五、六年前広島で勤務しているとき、休日に平和公園に参りましたとき、公園内に原爆により犠牲になつた学徒の顯彰碑があり、その出身地は全国にわたつておりました。その中に千葉一高生で四、五名の名前が刻まれていました。原爆が落とされたのは昭和二十年ですから千葉一高ではなく、千葉中の生徒であつた筈です。戦時中とは云え中学生が千葉から広島に徵用されてきたのでせうか、不思議に思いました。この辺のいきさつをお聞かせ下さい。

#### ●昭和十四年卒

水谷利夫

一四会の最近の行動概要について申し上げます。  
はじめに千葉高創立一二五周年記念同窓会名簿校正について

協力させていただきました。

校正にあたつては先づ元氣者

六四名(平成十四年五月二十二日現在)について本人、ご家族

及び友人等から確実な情報を得て精度の高いものとしました。

逝去者及び消息不明者についてもこれに準じて処理し逝去の日を確定しました。

次に会計について、平成十六年十一月二十七日古希の会終了後は支出の主体は花輪代でこれを賄う寄付金の現在(平成十四年十一月五日現在)残高は三万円です。

(寄付者の使途希望は通信費)

#### ●昭和十五年卒

古川清房

・本年度の叙勲受章者

(春)小菅伝 熱五等双光旭日章

(秋)沼田武 熱五等瑞宝章

鵜沢丈助 熱五等瑞宝章  
・九月二十六日一色尚次君が上

海で開催の第七回国際吸收・吸着ヒートポンプ会議でヘジヨー

ジアアレフエルド記念賞の第二目、東洋人では初めての受

賞者となつた。これは関係する学問における二ヶの新発見(塩

類水溶液と水の濃度差で走る自動車と吸収面の新形状研究)

・十月二十七日西千葉のみどり多岐にわたり、次号三十三号の

投稿寄稿についても、大いに期待されている。

城一五会(同級会)を開催、出席二十名、一人一言傘寿を迎えての感想を述べた。

・本年度の逝去者

中村陽一君(1/3) 吉原道隆君(1/18) 広瀬博君(3/25) 広

田俊郎君(5/27) 矢崎敏郎君(7/13) 宮野敏知君(9/1)

#### ●昭和十六年卒

鈴木脩

左のクラスメートが逝去  
伊藤和一君(平10・11・9)

早川茂駿君(平14・8・27)

主な行事については、三月十日クラス会報二十九号発行。

四月十三日春のクラス会を千葉駅ビルで開催。二十六名が出席、

昨年逝去された永井隆吉君、小林秀男君、田島修君の追悼慰靈

にはじまり、続いての懇親会は予定刻を一時間も超過し散会。

今年は小川武丸・田辺穂積両君

が出席者の増減はあまり変化なくよろこばしい現象である。但

し毎年一、二名は欠ける友あり

りし、互の健康留意を誓つた。

#### ●昭和十七年卒

早山卓夫

十二月七日駅ビルで本年の会を開催、出席者二十八名。異例

の寒さの影響などで少數であったが津田(釜石)荒居(足利)

君が引続き遠路参加久し振りに岩瀬精男君も見え賑やかに行われた。卒業後六十年、昔の思い出話や、今では全く變つてしまつた街中をソバ、雜煮、汁粉などを探して彷徨つた当時を回想して懐かしさ一入であつた。

過去三十年余りの記録を見ると昭和五十年の出席者五十名が

最高で種々の利便上現在の会場を利用し始めてから八回になる

が出席者の増減はあまり変化なくよろこばしい現象である。但

し毎年一、二名は欠ける友あり

りし、互の健康留意を誓つた。

会報三十二号は「老妻看護の病院のある記」を始め、内容は

多岐にわたり、次号三十三号の

投稿寄稿についても、大いに期待されている。

●昭和二十年五卒

平塚和夫

九十九通あり資料を配布。

むかし徴兵検査というものが  
あつた。

われわれ同期は、その徴兵検査経験の有無によって二つに分けられる。日本人全体の中で検査経験のあるグループ中の最低年齢層がいる一方、検査経験のない中での最高年齢層が存在し、この二つが同居している。

数えると検査経験者の方が多数であり、それを基準にすると、ことは喜寿を祝う年になる。そこで、ことし十月十五日(水)に喜寿記念の同期会総会(名称は新葉会総会)を開くことになつてゐる。喜寿ともなれば、もはやいいかげん体力も下降にむかつてしまふ、ひよつとすれば総会も今回あたりが最終回になるかも知れないという話が世話人の間ではちらほら交わされている。

●昭和二十年(四卒)

(禄寿会) 餅崎昭男

恒例の禄寿総会を平成十四年六月九日、ほてい家にて開催。出席者四十二名、近況連絡通知

午後一時より開会、物故者に黙祷をささげた後、事務局より資料の説明があり、旧交を温め懇談に入る。当会の牽引車役の岩浅浩君が永い闘病生活にもめげず、本年も寸時出席してくれました。年々体調も好転していると見受けられますので来年は完全復帰を願いたいものです。また、消息が不明であつた金子春男君が初めて出席されました。喜ばしい事です。

校歌を齊唱し、午後四時閉会。次回は平成十五年六月八日ほててい家で行う予定。なお、本年も同窓会に金式万円也を寄付。

●昭和二十一年・二十二年卒

斎藤喜久三

「入學六十年記念同窓会」

早いもので皆で五十周年入學式を講堂で再現させて貰つてからもう十年経過、十年前の入學式と少しも変わらぬ悪餓鬼時代の集団は定例六月第一土曜日に元氣印の早川俊一先生をお迎えして、ほてい家で開催、相変わらず生徒達よりお若い感じのニックネーム兄貴先生からの激に一同さらなる元気



を充電、あと四年後に喜寿となり、その翌年が卒業六十周年で文字通り千葉中に縁あって生徒還暦ともいえましょう。今から喜寿同窓会にはあーだ、こうだと話は持ちきりですが、楽しい希望を持って悪い鬼共はますます略式校旗と共に結束の今日この頃です。また年四回のスポーツカツラギの名称のもとにゴルフメンバーは五十名が登録、毎回二十五名位が入れ替わり立ち替わり同期会開催迄を楽しんでいます。今年も定例六月第一土曜日に開催します。

### ●昭和二十三年卒

関根義昭

#### 懐かしの千葉中学校

小生は昭和十八年四月の千葉中学校入学です。当時は太平洋戦争の真最中で、たまに警戒警報が発せられると、直ぐに下校命令が出されました。

三年からは学徒動員と云う事で週に一、二回は軍隊や兵器補給しようの防空壕掘りに駆り出されました。

さて、三年になると本格的な学徒動員令が発令されました。勤務先は船橋市の日本建鉄船橋

工場です。船橋駅で降りてしまふ歩くのですが、当時は靴も無く、我々は下駄で通勤していました。下駄と云つても杉の下駄、石でも踏むと真っ二つに割れてしまします。紐でも持つていいないと履けません。

話は変わりますが日本建鉄の班長（職工）と云う男が大変な男で姿が見えないので可笑いなど思っていると、ジユラルミンの屑箱の中でグウグウ寝ているのです。こんな男が班長では日本は勝てませんね。

三ヶ月位で器材の一部を千葉中に移し、学校工場となりました。稼働して間も無く終戦となりました。

### ●昭和二十五年卒

矢島肇

我々の同期会は、昭和十九年入学から二十五年卒業迄、六年間の一時でも席を並べた友は全て会員として名簿に載る。転校生が自ら名乗り出る事はない

が、卒業生の面々が、それぞれに親しく接していた友人に声を掛けたりし同行して来る。転校

話は変わりますが日本建鉄の班長（職工）と云う男が大変な男で姿が見えないので可笑いなど思っていると、ジユラルミンの屑箱の中でグウグウ寝ているのです。こんな男が班長では日本は勝てませんね。

### ●昭和二十六年卒

久山敬

卒業後五十年を記念して、三月一日、ホテルサンガーデン千葉にて同期会を開催した。

五十年記念としたこと、名簿を整備したこと、遠方からも参加しやすいように昼の時間帯としたこと等もあり、今まで以上に百名の参加者を得て盛会であった。久木元健二君による記念写真撮影のあと、永野剛君の司会で宴に入った。久山幹事代

が次回開催日である。

四年に一度、オリンピックの年に行っている。”又、元気で四年後に会おう、お前一人の命じやないぞ”を合言葉としている。アテネオリンピックの年、平成十六年四月二十九日（祝）が次回開催日である。

### ●昭和二十七年卒（二七会）

中村作二

千葉一高（当時）を卒業して半世紀、昨年三月二日にばる・る千葉に於いて卒業五十周年記念二七会を開催しました。それまでにも隔年ぐらいに二七会を開き、いつも百名ぐらいの



御挨拶のあと、霜同窓会長の音頭で乾杯、一同大いに歓を尽くし予定の二時間もアツという間に過ぎ去つてしまつた。会場ではビデオ「葛の葉かげ」（昭和二十三年に七十周年記念として撮影した映画を珊瑚会（三十五年卒）の皆さんのが尽力でビデオに復刻されたもの）も流れ、往時の映像に感慨一しおであつた。最後に、畠昭次君のリードで、校歌、選歌I、凱旋歌を大合唱して会を閉じた。

参加がありましたが、今回は百二十一名が集まり、中にはまさに半世紀ぶりの者も結構来て大いに盛り上りました。

記念事業として学校の玄関を入ったところに種谷扇舟先生書の『感謝之一生』という額を寄贈しました。また卒業三十周年の時に玄関の上に校章を寄贈しましたが、その入口わきに付けてあつたプレートを新調致しました。



●昭和二十八年卒  
市原利久

第四十九回を迎えた二八会は四月七日(毎回四月第一日曜日)恩師の南波、早川両先生のご来臨のもと市内ホテルの二十一階に約八十名の参加者で開催されました。物故者に黙祷を捧げ、会務の報告、先生方の卓話、初参加者

の感想等の後懇談となつたが、例年参加者は常連が七割、二割がたまに、一割が初参加者である。

私達より新学制となり、女性も十五名、一組の夫婦も参加し限られた時間の中、楽しい雰囲気の中散会したが、明年の第五十回に対し、参加者の増大を期し、亥鼻山のお花見、それぞれの溜まり場へと向かつた。

●昭和二九年卒(福の会)  
赤木快男

「とかくめだかは群れたがる」、ずっと前こんなコマーシャルがあつたような記憶がある。

わが「福の会」は自他ともに認める『群れたがり症候群』。意味は蔑みとやつかみに些かの羨望が入り混じつた言葉だと思うのだが、そんな意識も外聞も気にせずよく集まる学年である。それに大きな特色はご婦人達の出席率が極めて高いことだ。だからいつもゆつたりとして華やいだ雰囲気の楽しい集まりになるのである。半世紀前の三年間の青春が色褪せることが



昭和29年卒(福の会) 横浜大桟橋

く今もあるのは、私達の誇りである。

さて、二〇〇二年の例会は六月十五日ホテルサンガーデン千葉に恩師安西先生、稻葉先生、種谷先生、南波先生、早川先生をお迎えして総勢七十名、賑やかな午餐を楽しみ、うれしい福利の景品に歓声を上げたあと二回会、そして三次会でもまだ五人が残る凄まじさだった。

九月初め、ここ数年恒例化しているバス旅行が企画されたものの、参加者が最低催行人数に届かず中止の憂き目に…。夏休み明けの平日旅行は、仕事を持つて連中にとつては無慈悲な日程だったようだ。しかし、中止に不満の在神奈川分子が、ならば横浜中華街で美味しいものを呼びかけた。たちまちメダカは寄ってくる。昼過ぎに地元・東京・千葉から集合、まず赤れんが街のビールでのどを潤し、新装成った大桟橋・山下公園を散策、夕方からの参加者を含めて定員の二十三名、横浜幹事が厳選した特別料理、そして喋つてその上土産まで貰い大満足で家路についた。

前年同様習志野在住幹事の手配で津田沼・銀座アスターに自称『ひねた同級生』の早川先生を含め三十四名が参席、楽しい歓談のあと、したたかに、しなやかに生きようと、一同来る年の健康と再会を誓つて一年を締めくくった。

めだかは今や希少魚になりつつあり、水族館でしか見られない所もあると聞く。そのうち天然記念物に昇格するやも知れず、群は小さくても貴重な存在である。たとえ池の片隅にいても常に輝いていたい願望は私達に限らず誰しもが持ち続けるものであるらしい。

#### 追伸【業務命令】

百二十五周年のメイン事業「トレーニングルーム寄贈」で、建設責任者植草光長君は原資不足で四苦八苦、諸兄姉の応分の協力を待つ。



### ●昭和三十年卒（三〇年会） 中台正明

「学年短信」としては、全く久々の寄稿となります。と云つて、やるべき三〇年会は隔年では有りますが、きちんとやつております。今年はその年。

月の第一土曜が決まりです。

で、六月一日開催。約七十名の出席にて無事終了、恩師三名

（南波、早川、青野先生）の御

出席を得る。聊か淋しい出席、

されど全員に名入りにて写真送付、又、亡くなつた方（約二十名）を除く八十八%の方々に

は、これ又、全員に名簿を配布、非常な好評を得る。来期は母校

一二五周年事業、是非とも成功裏に終了すべし我々で出来得る

事は、協力する事を約し散会す。

前述したやに記憶してますが、

同期にてやつておりますサンゼロ会が五十回を迎えたので、茂原市内の真名カントリー

クラブにて一泊二日のゴルフ会を招集、初日はプレーに専念、

その後むろん早川俊一先生の御出席のもと先生よりお預かりし

て、茂原市内の真名カントリー

クラブにて一泊二日のゴルフ会を招集、初日はプレーに専念、

その後むろん早川俊一先生の御

出席のもと先生よりお預かりし

て、茂原市内の真名カントリー

クラブにて一泊二日のゴルフ会を招集、初日はプレーに専念、

その後むろん早川俊一先生の御

出席のもと先生よりお預かりし

て、茂原市内の真名カントリー

クラブにて一泊二日のゴルフ会を招集、初日はプレーに専念、

その後むろん早川俊一先生の御

卒が還暦となる年であり、従つて学校同窓会の幹事担当でもあります。おかげさまで天候にも恵まれ盛会裏に終了したことは周知のとおりで、関係者一同ホッとしました。た次第です。

一年以上前から打ち合わせを重ねつつ、準備に当たつた実行委員二十数名の方々の労を多とし、慰労会を催しました。

栃木県のゴルフ場に一泊し地元のソバを賞味し、翌日はゴルフ組と観光組とに分かれての一日でしたが、これ又快晴に恵まれ結構な二日間となりました。

私達前後の世代は日本の高度成長期と共に人生を歩んできた感が有ります。それ故、いわゆる会社人間が多いのも又事実。同窓とはそれらを超えて代を超え、瞬時に人の和が生まれると

べの結果発表と、やるべき事はすべて完了、これ又、無事に終了致しました。以上三〇年会の、この一年を振り返りました。

### ●昭和三十五年卒（珊瑚会） 吉岡賢一

ころに大きいなる意味が有るので  
はないでしょうか。

組織を卒業した人達が増える  
還暦以後、同窓会の意義と役割  
は益々大切なものとなるよう  
思えます。

### ●昭和三十六年卒

田那村 宏

母校が創立百二十五周年を迎  
える年となり歴史の重さと同  
窓の絆を改めて思いを致しま  
す。

前年の総会懇親会は前夜祭と  
して三十五周年卒の先輩が盛  
り立てられました。創立百二  
十五周年記念事業・記念祝賀  
会兼同窓会総会の会場式典で  
の担当学年として母校同窓会  
理事会、同期の佐藤校長とも  
連絡を密に学年での幹事会を  
積重ねてまいりました。式典  
と懇親祝賀会を同一会場で行  
う試みは初めてでありますが、  
同窓諸兄姉と祝賀会が盛り上  
がることと思います。将来を  
担う後輩の学生生活の環境を  
整え次の世紀に繋がる母校の  
発展の基盤となるこの記念事  
業達成に、多数の同窓の皆様

のご出席とご協力を願つてお  
ります。三十七年卒の皆様に  
次を期待!!

### ●昭和三十七年卒

駒井 隆子  
朝生 邦夫

◎今年も三七会の活動は、多  
方面に活発に展開されました。

「三七で歩く会」は、北岳や  
立山、戸隠山などを含め、ほゞ  
毎月一回の山歩きを楽しんでい  
ます。

「三七ゴルフ会」は春と秋の  
コンペを中心に多数の参加を得て  
います。

「三七旅行の会」は、夏に九  
州南部の宮崎・鹿児島へと三泊  
四日の「熟年修学旅行」に行き  
ました。

この他、冬には「三七スキーカ  
ラブ合宿」を、夏には「三七  
海の会」を開催して、旧交を温  
め懇親を深めています。

サークル活動では、「三七卓球  
の会」と「三七囲碁の会」とが、  
月に一・二回コミニティーセ  
ンターや会員宅で体を動かし、  
頭を鍛えています。「三七釣友  
会」は海釣りを楽しみ、「三七

カヌーの会」はイギリス・テ  
ムズ川を下り、国内の川・湖沼  
を漕ぎました。

お互いの連絡は、池田YIC  
が管理する千葉高三七会HPや  
各サークルのMLを通じてネット  
を構築しています。他学年同

期会HPとのリンクも張りつ  
あります。二〇〇二年忘年会で  
今年の活動のまとめをしまし  
た。二月には、「三七会年報」  
が発行され、本部同窓会に合わ  
せて、〇三年度の幹事業務の準  
備を視野に入れて、三七同期会  
総会を開催する予定です。

三七回ホームページおよび各  
サークルの連絡先一覧は左記の  
通り。

H P  
[www.chibakou.yic.or.jp/37doukikai](http://www.chibakou.yic.or.jp/37doukikai)

三七回ML、幹事会ML、山の  
会ML、卓球の会ML、囲碁の  
会ML、釣友会ML運営中(カ  
メーの会準備中。以上の照会は  
ikeda@yic.or.jp)

### ●昭和四十四年卒

森 茂

### 『二十一世紀の暮らし方』

母校卒業以来三十年余。折に  
ふれて思い出すのは、部活(弓  
道部)合宿で唱った校歌です。  
「遠き歴史は力なり、母校のほ  
まれ身につけて、世界平和の民  
となり、……」

唱われているのは、私達は一  
人で生きているのではなく、歴  
史を基礎とし、周囲の人・物に  
支えられて存在していること、  
またグローバルな視野を持つべ  
きこと。

”環境の世紀“ともいわれる  
二十一世紀。身近なことから、  
暮らし方を再検討する時でもあ  
るようです。

- 三七囲碁の会…………佐々木誠
- 三七旅行の会…………市原忠雄
- 三七スキーの会…………櫻井武之
- 三七カヌーの会…………幸治昌秀
- 三七卓球の会…………石橋千恵子
- 三七釣友会…………佐々木誠
- 三七ゴルフ会…………嵐 武夫
- 三七卓球の会…………朝生邦夫

加瀬紘男

いなら、私自身を救えない。』  
オルテガ・イ・ガセット

※二十一世紀最初の同期会  
(第二回)は、二〇〇五年です。  
お楽しみに!

### ●昭和四十九年卒

嶋田政昭

我々の昨年一年間の行事はま

ず

◎一月二日・恒例の新年会(同期三上君の実家・萬菊)で高校三年の時から続いて最近では親子or夫婦で参加してくれる方もあります。そして

◎年二回行っているゴルフコンペ(ダメオスコンペ・三六回目)を五月と十二月に開催しました。最近は女子校の同級生も引っぱり込んで和気あいあいとやつております。そして

◎同期会ですが、今回は新しい試みとして、三学年合同(五十一年卒)の同窓会を十月に行ないました。依田・宮島・畠山・村越・桝谷・須藤・吉野先生と七名の恩師を迎えて頂きました。元気な姿を見せて頂きました。旧交を暖

め七次会八次会と盛り上がった学年もありました。同時に五十一年卒の鹿毛君の尽力によりホームページを開設しました。

<http://homepage3.nifty.com/chiba50/index.html>  
パスワード page009 (半角英数)

### ☆野球部の報告を少し

まず現役は、夏の大会では四回戦まで勝ち進んだのですが、Aシードの学館総合技術に延長

で二対四と惜しくも敗れ、秋の

大会も県大会に駒を進めるも、

銚子商業に敗れ、夏を目指して

頑張っています。

◎OBの方は、一月の第二土曜日(恒例)梅松屋(内山大先輩

昭和八年卒)での新年会から始

まり、三月予餞会、五月OB連

合会コンペ・八月OB野球大

会・十一月マラソンOB戦・十

二月野球部OBコンペをやりま

した。野球部一同、百二十五周

年の記念事業を応援していきた

いと思っております。



## 支部だより

☆東京葛城会会長 中村浩紹  
(昭和二十九年卒)

(昭和二十九年卒)

第四十三回総会・懇親会は、

平成十四年十月二十四日(木曜日)午後六時より、恒例の上野

精養軒にて佐藤英幸学校長、霜

礼次郎同窓会長、依田寛市先生

を迎え一二〇余名の出席のも

と、幹事役の昭和四十三年卒業

の諸君の準備で賑やかに開催さ

れました。

総会は、幹事織本真理さん、

同高橋純一君の司会進行で進め

られ、冒頭、平田敏行君(四十

二年卒)が資料に基づき精密に

復元デザインした千葉中学校校

旗と千葉高等学校校旗が会場正

面にて披露された。茶褐色の布

地に校章の「中」「高」の文字

を浮かび上がらせた校旗を仰

ぎ、出席者一同葛城台の青春の

想いに感無量でした。

東京葛城会は、葛城台で学ん

だ同窓生の任意自発的な同窓生

活動として千葉高創立一二五周年の歴史のうち三分の一歳月を

初代会長穴水徳五郎先輩(大正十四年卒)、二代会長中村哲也先輩(昭和十六年卒)、三代会長安藤勇二先輩(昭和二十四年卒)から受け継ぎ親睦を中心とした同窓生の絆を大切にすることをモットーとして活動しています。

本年第四十四回東京葛城会は、平成十五年十月九日(木曜日)同一会場にて開催いたすことが決定しておりますので、多数の同窓生の参加をお待ちいた

ます。

敦彦両君らの演奏によるオカリナアンサンブルの華麗なるメロディーを堪能しながら、夫々れの席で同窓の交歓の輪が和やかに広がり、幹事佐久間憲子さんのリードによる校歌の合唱にて最高潮に達しました。

会場では、織本さん母娘の手作りネクタイのチャリティー販売がなされ、ご好意により売上金は、当会の経費と千葉県福祉関係団体に寄贈されました。

## ☆東京葛城会

櫻木英一郎

(昭和四十二年卒)

ールが来ました。

「日頃あまり付き合いのないみんなが集まり、酒をくみかわし、日常を忘れて言いたい放題、これも楽しいことです。」

昨年の東京葛城会は四十三年組が幹事当番。東京に勤務地がある伊藤三平君や高橋純一君たちが中心となって準備がなされました。当日は在学当時の先生方を始め多くの同窓生のご出席を頂き大変盛況であつたとのことです。以下、伊藤君が運営してくれている同期会HPに東京葛城会の直後に掲載された会の報告を抜粋掲載します。

「平成十四年・第四十三回東京葛城会総会&懇親会の報告」

先生の文武両道に頑張る後輩達の母校現況の報告に、楽しい思ひも加わりました。当地区の在校生の数も嬉しいことでした。圧巻は二十六年卒・久木元氏のマジックでした。古希とも思えぬ氏の手さばきと種明かしに驚・笑、皆満足。「来年も是非お願い。」の声しきりでした。

式的な会合ではなく、企画も運営もすばらしくて、参加者の各年齢層の方も大変喜んでおられ、私は初めてのときびっくりしました。それは参加者の皆さんに発言の機会を与えたり、又後輩の特技の演奏や独唱の発表の場をつくり広く紹介したり、合あう場となつていて、これがたとえ未完成であつても自由に個性的に特技を大勢の前に紹介し合あう場となりました。それが各層に喜ばれ楽しい会として年々隆盛になつたわけだと思います。(以下略)

## ☆船橋葛城会

船橋葛城会会长 千吉良護

(昭和二十九年卒)

今年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

## ☆長生茂原葛城会

永野 剛

(昭和二十六年卒)

船橋葛城会のPRをさせていただきます。

船橋葛城会の十周年記念誌にいたいた西村敏武先生(昭和四年卒)のお言葉です。

「大体同窓会は形式的に卒業生中の出世頭を雑談に飾り、これを看板にして、挨拶もまことに文句で、その他の参加者は黙々としている姿です。同窓会は同じ学校生活をした同級生と先輩後輩との縦つながりを広げ、語り合うこそ楽しみで、看板の人も同級生の中に入りたい

## ☆佐倉葛城会

佐倉葛城会会长 片岡 寛

(昭和三十五年卒)

さて、この船橋会の内容は形

さで、この船橋会の内容は形

式的な会合ではなく、企画も運営もすばらしくて、参加者の各年齢層の方も大変喜んでおられ、私は初めてのときびっくりしました。それは参加者の皆さんに発言の機会を与えたり、又後輩の特技の演奏や独唱の発表の場をつくり広く紹介したり、合あう場となつていて、これがたとえ未完成であつても自由に個性的に特技を大勢の前に紹介し合あう場となりました。それが各層に喜ばれ楽しい会として年々隆盛になつたわけだと思います。(以下略)

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

本年の総会は五月二十五日(日)フローラ西船(JR西船橋駅前)で開催予定です。ぜひ大勢の皆様のご出席をお待ち申します。

## 同窓会報

取り行い、正式に発足させて頂きました。佐倉葛城会は、佐倉在住か佐倉で仕事をされているか、佐倉出身の同窓生のうち、昭和六十三年卒業までの方をまでは会員に迎えることで発足しました。当日は約五十人の出席を得、三月としては暖かい一日、久しぶりの千葉高の思い出話などに花が咲きました。

今後、若い人達にも参加してもらい、より一層千葉高を支援する会として発展してまいりたいと存じます。どうか皆様のご支援をお願い申し上げます。

## ☆千葉市役所葛城会

山形 武次

(昭和三十八年卒)



◎受賞の方を紹介します。おめでとうございます。

勲一等瑞宝章 沼田 武 (昭15)  
勲三等旭日中綬章

勝山 亮 (昭25)

勲四等旭日小綬章 山崎宏武 (昭25)

勲五等双光旭日章 小菅 伝 (昭15)  
鶴澤丈助 (昭15)

大塚晴久 (昭25)

就任された昭和三十四年卒の星野忠雄さん、そして、本会の発足当初から長い間ご尽力をいたされた昭和二十八年卒の山本義春さんをお招きし、盛大に行うことができました。

昭和三十四年の卒業生でもある鶴岡市長さんの市政の舵取りも二年目を迎え、同窓の諸先輩がガツチリと脇を固めつつの今日、母校の所在地である千葉市の限りない発展に向け、本会も少なからぬ貢献をしてまいりたいと考えております。

◎逝去された方をお知らせします。ご冥福をお祈りします。

矢崎敏郎 (元校長・昭15)

小田安行 (理事・昭23)

堀田一夫 (理事・昭32)



暦の上では春とはいえ、いまだ真冬の寒さが続いておりますが、同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年度より鳥光教諭の後を継いで同窓会報を担当させていただきます五木田 (昭和48年卒) と榎本 (昭和57年卒) です。どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年十月に同窓会員の中の各年度の理事の方々に、「学年短信」の原稿依頼を発送しました折には、正直などころ、原稿

文部科学大臣教育者表彰 千葉県教育者表彰 霜禮次郎 (昭31)

紫綬褒章 天沢退一郎 (昭30)  
学士院会員 三谷太一郎 (昭30)

佐藤英幸 (昭36)

霜禮次郎 (昭31)

がどれくらい集まるか、いささか不安でしたが、お陰さまで「支部だより」を含めて三十名の方々に寄稿していただきました。ちなみに昨年度が二十四名、一昨年度が十九名です。多くの原稿、ご協力ありがとうございました。

寄稿してくださった三十名の皆さんを卒業年度で大別します

と、昭和ヒトケタが二名、年代が七名、二十年代が十二名、三十年代が六名、四十年代が三名となります。これを年齢で見ますと、八十七歳から四十七歳に渡っていることになります。

原稿一枚一枚から、それぞれの時代の千葉高の様子や、当時の社会情勢を窺い知ることができます。先輩諸兄のご活躍と、母校への変わらぬ熱き想いを励みとして、生徒とともに頑張っていきたいと思います。

折しも二月三日に「特色ある入学者選抜」が初めて実施され、入学者の20%は本校独自問題で選ばれることになりました。個性豊かなすばらしい生徒が入学し、千葉高がますます発展することが大いに期待されます。